

23 年度明誠舎早春セミナー

主催：社団法人心学明誠舎 <http://www.ehle.ac.jp/meiseisha/>

1、演題：市場化の時代に見直す江戸期商人道

昨今の企業不祥事や弱肉強食の風潮の中で、しばしば「武士道に帰れ」と叫ばれています。しかし、身内第一の武士道の道德観はじつは強固に残っています。むしろ、集団主義的な社会システムが壊れて市場原理が浸透しているのに、道德観が集団主義にふさわしい「武士道型」のままに、混乱のもとがあると言えます。

市場原理が覆う社会にふさわしいのは、他人にわけへだてなく誠実な個人主義的な道德観です。でもこんな道德観は西洋だけのもので日本に合わないとお思いですか。そんなことはありません。本講では、江戸時代の「商人道」の道德大系をこの観点から再評価していきます。

講師：松尾 匡氏（立命館大学経済学部教授）

石川県出身。神戸大学大学院経済学研究科修了。

久留米大学を経て2008年より立命館大学経済学部教授。福岡県久留米市在住。

日時：平成24年2月24日（金）午後6時30分～午後8時（受付開始午後6時～）

場所：丸紅ビル（裏面参照）

共催：大阪府・懐徳堂記念会

2、演題：民の学びと社会貢献 - 日本を支えるもう一つの力

関西各界で活躍する人々のつながり、新しい公共の担い手といわれるNPOの拡大、寄付社会の広がり、社会貢献を实践する経営者の増加...。違うテーマの取材をしながら底流に共通したものを感じることがあります。新しいと思った動きが実は昔から息づいてきたものの延長線上にあったと気づくこともあります。心学とのかかわりは明確にできませんが、取材で知り、考えた、そんな「もの」についてお話してみようと思います。

講師：堀田 昇吾氏（日本経済新聞社編集委員）

立命館大学法学部卒業。日本経済新聞社に入社後、東京・大阪の社会部次長、大阪社会部長を経て現職。近年はNPOなど社会を支える新たな基盤、関西の行政・政治、生活文化に関する取材を続けている。マスコミ横断組織・関西プレスクラブの企画委員長も務める。

日時：平成24年3月8日（木）午後6時30分～午後8時（受付開始午後6時～）

場所：丸紅ビル（裏面参照）

共催：大阪府・懐徳堂記念会・経営技術コンサルタント協会

お申し込み メール(meiseisha@ehle.ac.jp) か FAX(06-6766-6702)でお申し込みください。

2月24日の講演に申し込みます。

3月8日の講演に申し込みます。

ご氏名	
ご住所	(会社・ご自宅)
(携帯)	
メールアドレス	

丸紅ビルご案内

講演にはビル西側にあります通用口からお入りいただき、地下1階にお越しください。

大阪市中央区本町2-5-7

市営地下鉄御堂筋線・中央線 本町駅 3番出口から徒歩5分

市営地下鉄堺筋線・中央線 堺筋本町駅 17番出口から徒歩3分

連絡先：090-3276-8966（心学明誠舎事務局携帯）



社団法人心学明誠舎
大阪市浪速区難波中3-8-17 エール学園内

いただきました情報は弊舎からのご案内のみにさせていただきます。